

# CAMPUS NEWS RIKKYO NIIZA

No.87

— July 2023 —

- 特集 1 -

～ 生徒座談会 ～

模擬国連参加を通して培う  
グローバルリーダーの資質

- 特集 2 -

～ 卒業生インタビュー ～

立教新座で培った MY SPIRIT  
「続けたからこそ見える景色がある」

— 立教中・高・大の野球部を経て、東京六大学野球審判員へ —



立教新座中学校・高等学校



SPECIAL DISCUSSION 生徒 座談会

## 模擬国連参加を通して培う グローバルリーダーの資質

立教新座には、授業や部活動の傍ら、学外で開催される国際会議や模擬国連などの学術活動に取り組む生徒がいます。模擬国連は、参加者が各国の大使になりきり国際連合の会議を模擬する活動で、各大使は提示された議題について、政策をまとめたスピーチや他国との交渉を英語で行います。2023年3月、2日間にわたって行われた「ジャパンメトロポリタン模擬国連大会」(JMMUN)に参加した栗本涼平さん、河合羽空さん、内田寛樹さんに、挑戦したきっかけや感想などを語り合っていました。



高校2年 栗本 涼平  
Ryohei Kurimoto



高校2年 河合 羽空  
Haku Kawai



高校2年 内田 寛樹  
Hiroki Uchida



### それぞれの思いを胸に参加した模擬国連大会

**栗本:** 普段の学校生活では得られない体験がしたいと思い、昨年11月に今回とは別の模擬国連大会に参加しました。その時、他校の生徒のレベルの高さに圧倒されました。同時に悔しさもあったので、前回の反省を生かして再チャレンジしたいと思い、今回二人を誘って参加を決めたのです。

**内田:** もともと社会系の科目が好きだったので、栗本さんの誘いに乗りました。社会問題について授業で学ぶことはありますが、自分で調べる機会はありません。情報収集して主張をまとめた模擬国連は大変貴重な経験になったと思います。会場では英語しか使えないという厳しい環境でしたが、だからこそ自分に不足している能力に気付くことができました。

**河合:** 僕は「伝える力」を身に付けたくて、スピーチや交渉の機会がある模擬国連への参加を決めました。英語力を鍛えたいと思ったのも理由の一つです。今回の議題は森林破壊の防止に関するもので、僕と内田さんは東南アジアのラオスを担当しました。森林破壊を止めるには伐採を取り締まれば良いという単純な話ではなく、各所の利害関係が複雑に絡み合っていることを知り、そこに面白さを覚えました。

### 先生のサポートの下、3人で協力した事前準備

**栗本:** 本番を迎えるにあたり、1ヶ月前くらいから3人で協力して準備を進めました。議題が提示された後、担当国が決まり、Webや書籍で情報収集した上で政策を考えます。僕が担当したアフリカのモザンビークは開発途上国であることもあって、Webで検索しても有益な情報が得づらい状況でした。そんな中、河合さんが国際機関が発行する公式文書や論文などを検索できるアプリやサイトを教えてくれて、とても役立ちました。

**河合:** 他国との交渉のシミュレーションやスピーチの練習も繰り返し行い、お互いにフィードバックを重ねました。英語の先生からは、スピーチの構成や発音、イントネーションなどに関するアドバイスをいただきました。

**内田:** 世界史の先生からも、さまざまな国の文化的背景や、情報収集の手順などを教えていただき、非常に心強かったです。

**栗本:** 前回の模擬国連大会では、僕があまり議論に入り込めなかったという反省もあり、議論やグループワークを行う上でのノウハウを先生方から教わりました。何かを主張する際は根拠と論拠をしっかりと示すことを学び、本番でも実現できたと思います。ただ、リーダーシップという点では力不足を痛感したので、これから経験を積んでいきたいです。



議論を想定して調査した各国の状況などをまとめた資料

### 模擬国連を通して得たものと、今後の目標

**内田:** 社会的な勉強になったのはもちろん、英語力の向上も実感しました。1日目は司会者の発言がほとんど聞き取れなかったのが、2日目は少し理解できるようになりました。また、授業と部活動だけでは味わえない体験や、普段出会うことのない高校生との交流ができ、自分の世界が大きく広がったように感じます。この経験を生かし、留学にも挑戦したいです。

**河合:** 日本語を話すのは日本人だけであり、日本は世界の一部でしかないことに気がきました。グローバル化が進む中で、英語をはじめ外国語の能力がますます大切になってくると思うので、今後さらに力を入れて学びたいと考えています。

**栗本:** データや根拠に基づいた提案ができるようになったと感じます。また模擬国連には、他国と水面下で交渉や駆け引きを行う「メモ回し」という慣習があるのですが、そういったことも積極的にに行い、前回より存在感を示せたという実感がありました。模擬国連を通して培われる英語力、リサーチ力、伝える力、グループで協働する力などは将来必ず役立つと思いますし、だからこそ選択肢を広く持って、夢や目標を探っていきたいです。

(取材:2023年4月)



# 「続けたからこそ見える景色がある」

— 立教中・高・大の野球部を経て、東京六大学野球審判員へ —

2013年度卒業生  
竹内 健太郎 さん  
Kentaro Takeuchi

| Profile |  
2011年3月 立教新座中学校卒業  
2014年3月 立教新座高校卒業  
2018年3月 立教大学経済学部卒業  
2018年4月 一般企業へ就職  
2022年9月 東京六大学野球の審判員としてデビュー

立教新座中学から立教大学を卒業するまで野球部に所属した竹内健太郎さん。在学中、選手としてグラウンドに立つことはありませんでしたが、野球部の一員としてチームを盛り上げ、東京六大学野球2017年春季リーグ戦では立教大学の優勝を学生コーチとして支えました。現在、一般企業に勤めながら東京六大学野球審判員として活動する竹内さんに、学生時代の思い出や野球への思いについて伺います。

## 野球に打ち込んだ中高6年間。環境にも恵まれた



子どもの頃から野球が好きだったので、中学受験が終わったら野球がしたいと思っていました。立教新座中学校の野球部で、未経験者は僕を含めて数えるほど。レギュラーどころか、ベンチ入りすらできませんでした。高校でも続けようかどうかわ迷ったのですが、仲間が「野球が好きなら高校でも一緒にやろう」と声をかけてくれたこともあって、高校卒業まで野球を続けました。

立教新座中高の野球部は、選手も補欠も関係なく対等です。試合に勝ったら共に喜び、練習の後も、みんなで楽しく話しながら帰る、厳しすぎず、熱量のある雰囲気でした。練習のメニューやルールを自分たちで決められるところが魅力的で、この時に身につけた、自由にする分、責任も取るという姿勢は社会人になった今も役に立っています。

## 大学では、学生コーチとして選手を支える

大学でも野球を続けることは決めていましたが、立教大学の野球部へは全国から強豪選手が集まってくるので、ますます僕が試合に出るのは難しい。そこで、大好きな野球に関わりながらチームを支えたいと、3年次に学生コーチに転身しました。学生コーチは、大学野球ならではの仕事で、選手の練習メニューを考えたり、監督と選手の意思疎通をサポートしたりします。僕は、選手が少しでも良い練習ができるように、筋トレの仕方など猛勉強し、そして、選手と多くの時間を過ごせるように、練習前は誰よりも早くグラウンドへ向かいました。

大学4年次、立教大学は東京六大学野球春季リーグ戦で、18年ぶりに優勝。全日本大学野球選手権大会でも59年ぶりに優勝しました。全日本の決勝戦の前日、僕らデータ班は徹夜で試合データを分析して選手をサポートしました。池袋で行われた優勝パレードでは、学生コー

チという立場なのにオープンカーに乗せてもらえて、車上から見た景色は忘れられません。選手になれなくても、10年間、野球を続けてきたことを誇りに思った瞬間でした。

学生コーチのころから審判講習会に参加していたこともあって、監督や先輩に推薦していただき、2022年の秋季リーグ戦で審判員としてデビュー。現在は、会社員と両立しながら、審判の腕を磨いています。審判員の魅力は、一番近くで試合を観られることと、選手、監督らと一緒に試合をつくっていけるところ、そして立教大学の代表として憧れの神宮のグラウンドに立っているということです。夢は、満員の早慶戦で審判をすることですね。そして、大学野球をはじめ、アマチュア野球全体が盛り上がるように審判活動をしていきたいです。



写真提供: 戸田優輝さん

@lily\_bbp

## 続けてきたからこそ、胸を張れる

中高大とずっと野球を続けてこられたのは、何より野球が好きなのと、少しずつでも上手になっている手ごたえがあったからです。人と比べる必要はなく、自分が成長できているのだから途中であきらめたくなかった。もし、途中で野球部をやめていたら、こうして誰かに話すこともなかったでしょう。やりたいことを最後までやり遂げたからこそ、今も胸を張って話せるのだと思います。

みなさんの中でも、「これを続けていて意味があるのかな」と思っている人がいるかもしれません。でも、大人になれば、「続けていてよかった」と思える日がきます。特に、立教は横のつながりが強いので、OBの方に会うこともしょっちゅうです。そのとき、「立教でこんなことをやっていた」と言えることはきっと武器になりますよ。

(取材:2023年6月)

### < 公式 Web サイト・SNS について >

本誌の内容は、本校 Web サイトや SNS でもご覧いただけます。また、Web サイトや SNS では、本校での出来事など、日々の学校生活の様子が垣間見られるような情報や写真を発信しています。ぜひ、ご覧ください。



Webサイト



Facebook



Instagram



LINE



note

※在校生への緊急時のお知らせは「立教新座配信メール」で確認してください。

## CAMPUS NEWS RIKKYO NIIZA

キャンパスニュース 立教新座

2023年7月7日発行 第87号  
発行/立教新座中学校・高等学校 教務・入試広報課  
〒352-8523 埼玉県新座市北野 1-2-25  
TEL.048-471-6648 [ 入試窓口 ]  
<https://niiza.rikkyo.ac.jp/>